

日本共産党中国ブロック指導部会議を開催

## 比例の大波をおこし必ず議席奪還を！

この11月「つどい」「党員拡大」での飛躍を決意

11月12日、中国5県の県委員長による指導部会議が開催され、「5県県委員長の訴え」を確認するとともに、幹部会決議と11月10日の小池書記局長の訴えに基づき「管政権を攻めに攻め、党員拡大のうねりをこの11月から起こすこと、そのため全支部で『つどい』を開催すること」を確認しました。

## どこでも響きあう党の提案。この声を国会へ

大平さん 全自治体訪問へあと1自治体

大平喜信前衆議院議員は、11日には島根県飯南町、13日には岡山県井原市を訪問し、首長らとの懇談、街頭からの宣伝に取り組みました。その活動を大平さんのツイッターから紹介します。

### 飯南町

しめ縄が有名で出雲大社の大しめ縄もここでつくっている。海外にもファンがおり先日はドバイからも注文が入ったそう。「大しめなわ創作館」を見学してから町役場へ。

町長さんにごあいさつし、総務課長さんから詳しく国政への要望をお聞きした。特に強調されたのは医療体制の確保（慢性的な医師・看護師不足の解消など）と、農業への支援強化「大規模化・集約化ばかりでなく家族農業・中山間地農業にも手厚い支援を」。いずれも中国地方の共通課題。



### 井原市

大舌勲市長と懇談。「繊維産業や自動車部品などのものづくりとともに、自然も豊かでぶどうやごぼうなどが特産。特に『井原デニム』は世界の有名ブランドからも注文があるなど高い評価がされている」と市長自ら着用のジーンズとデニムマスクも紹介をされながら誇らしく語っておられた。そんな中でのコロナ危機は各産業に大打撃で市の税収も激減。国への要望はズバリ「財源を

お願いします」。過疎法の話題になり井原市は「みなし過疎」地域ということで年度末の見直して支援対象から外されることのないよう引き続く支援をとの訴えが。しっかり届けたい。